

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク		
所在地	東京都多摩市	設立年	2000年法人化。
運営主体	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク		
事業目標	<p>教員のオーバーワークを減らすとともに、学校の中にある「スクール・カースト」や、学年等による上下関係といったネガティブな要素を排除するために、青少年にとって「安心できる環境」と「優れた指導者」のもと、英国やオーストラリア等で広がるユースシアターの活動をモデルにとりながら、とりわけミュージカルや青少年を中心に考えた演劇を活用して、コミュニケーション能力・協調性・表現力・発言力・五感力・創造力そして「人間力」を育てることを目的としています。吉祥寺(武蔵野市)と多摩センター(多摩市)の2か所で実施するとともに、スコットランドのユースシアターの実践と理念を教師や保護者、演劇人らに向けてオンラインで提供いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語圏で広がる「ユース・シアター」の活動を日本において導入するために、商業主義的なタレント養成所とは異なる日本に即した理念・実践を確立し、周知すること。 ・教育機関や教育委員会等と連携を行うために、ユース・シアターの理念と実践を理解していただくこと。 ・学校教育を補完する役割とともに(ex 学習媒体としての演劇)、差異を明確にし、機能させること。 ・外国にルーツをもつ子ども、学校のクラブになじめない子ども、軽い障がいをもつ子どもを排除することなく守る等、チャイルドプロテクションの理念の共有と徹底すること。 		
きっかけ	長年にわたり、英語圏で展開されてきたドラマ&シアター教育の指導者の育成に携わるとともに、ユースシアターの理念と実践について研究を行ってきた経緯があります。		
団体・組織等の連携	特定非営利活動法人多摩子ども劇場(多摩地区における広報協力) ユニークユニオンミュージカル(講師、広報) 劇団印象(講師) ふあり(音楽) Strange Town Youth Theatre Company他(オンライン・セミナー)		
活動場所	オンライン／パルテノン多摩(多摩市落合)／スタジオアムリタ(武蔵野市吉祥寺本町)		

<p>活動概要</p>	<p>□オンライン・セミナー 「スコットランドの事例に学ぶユースシアターの活動と可能性」 日時 令和4年8月3日(水)18:00-20:30 参加費 1,000円(2日間)／参加者数 30名 スコットランドのユースシアターをけん引する二人のエキスパートからタイプの異なるユースシアターの活動の理念と実践をお話いただきました。幅広い参加者(公立文化施設担当者、ワークショップリーダー、アーティスト、アートマネジャー、研究者、社会教育従事者等)を得て、積極的な議論が展開されました。(要約は機関誌シアター&ポリシー第134号に掲載しています。) 講師 スティーブン・スモール／レイチェル・スミス 通訳 宮内奈緒／聞き手 中山夏織</p> <p>多摩市開催 □ドラマ 「演劇で物語の世界を旅してみよう！」 日時 2022年8月8日(月)&10日(水)10:00-15:00(休憩を含む) 会場 パルテノン多摩 会議室3, 4 参加費 1,000円(2日間)／参加者数 8名 8歳から14歳の子どもたちが参加。「だるまさんが転んだ」のゲームから宮沢賢治の「注文の多い料理店」の世界を探求していく演劇ワークショップとなりました。多くは多摩地区の小中学生ですが、遠方からの参加者もありました。 講師 鈴木アツト(劇作・演出／劇団印象) アシスタント 中村真季子(俳優) 演奏 FUARI 緒方理麻(バイオリン)、松坂史子(ピアノ)</p> <p>□ミュージカル 「ミュージカルで新しい自分と出会おう！」 日時 2022年8月18日(木)&19日(金)10:00-15:00(休憩を含む) 会場 パルテノン多摩 会議室3, 4 参加費 1,000円(2日間)／参加者数 9名 8歳から16歳までの参加者たちは、ミュージカル「マチルダ」を使って、歌唱とダンス、アンサンブルとメインの両方の表現を学びました。わずか2日間でダイナミックな作品へと発展しました。小学生は多摩地区の子どもたちでしたが、中高生は遠方からの参加者が多く、静岡県や愛知県等、宿泊を伴う参加者がいたことに驚かされました。 講師 大塚幸太(俳優、演出、振付／桐朋学園芸術短期大学特任准教授) 演奏 FUARI 木村綾香(ピアノ)、緒方理麻(歌唱サポート)</p>
<p>活動概要</p>	<p>武蔵野市開催 □ドラマ 「演劇で物語の世界を旅してみよう！」 日時 2022年8月22日(月)&23日(火)10:00-15:00(休憩を含む) 会場 スタジオアムリタ ウェスト 参加費 1,000円(2日間)／参加者数 子ども 5名 大人 6名 7歳から14歳の子どもたちが参加。「だるまさんが転んだ」のゲームから宮沢賢治の「注文の多い料理店」の世界を探求していく演劇ワークショップとなりました。子どもたちの活動を成立させるために、プロ俳優らの手を借りたことで、より充実した内容となりました。 講師 鈴木アツト(劇作・演出／劇団印象) アシスタント 中村真季子(俳優) 演奏 FUARI 緒方理麻(バイオリン)、松坂史子(ピアノ)</p> <p>□ミュージカル 「ミュージカルで新しい自分と出会おう！」 日時 2022年8月25日(木)&26日(金)10:00-15:00(休憩を含む) 会場 スタジオアムリタ ウェスト 参加費 1,000円(2日間)／参加者数 4名 14歳から17歳までの参加者たちは、ミュージカル「マチルダ」を使って、歌唱とダンス、アンサンブルとメインの両方の表現を学びました。参加者の真剣さと進捗状況に驚かされるおのがありました。 講師 大塚幸太(俳優、演出、振付／桐朋学園芸術短期大学特任准教授) 演奏 FUARI 木村綾香(ピアノ)、緒方理麻(歌唱サポート)</p>

○本事業による成果

日々感染拡大を示すコロナ禍においての実施であり、多くの困難を抱えました。そもそも中学校レベルで演劇部のあぐ学校は少なく、それを補うべく多摩市の校長会でプレゼンテーションをさせていただく手はずになっていたものの、台風の接近により校長会自体がオンライン化し、学校の協力がほとんど得られないままとなった。

学校とは離れたところで、つまり家庭の方からの強いニーズを知るところとなる。コロナ禍にあっても、夏休みの声をきくころになると徐々に申し込みと問い合わせが増え始めた。制限のない夏となって、家族としての行事の合間を見るように参加させたいという思いであろうか。実際、青少年を対象としたイベントサイトでの閲覧数は多摩地区のイベントではトップクラスに位置していた。

申込の際には、保護者から切実な声が聞こえてきた。学校行事のほとんどがなくなってしまい、表現したりする場が一切奪われてしまった(小3・女子);オンライン化により学校に行く必要が感じられなくなり、不登校になった(中3・女子)…等々である。特に、ドラマのワークショップについてだが、多摩センターでも吉祥寺でも共通して小学校低学年の参加申込者が多かったのは、すべての学びや遊びに制限を加えられてきた子どもたちに対する保護者の危機感の表れだったと思われる。

驚いたのは、地域文化倶楽部とはかなり意図するものが異なるが、遠方からの参加者の存在である。ミュージカルのワークショップには、東京都・神奈川県のみならず、千葉県、愛知県、静岡県からの中学生、高校生の参加者を得た。ミュージカルにあこがれ、すでにステップを踏み出している女子生徒たちに交じって、愛知県からやってきた中3生・男子の父親の思いは少しばかり異なり、藁にもすがる思いが伝わってきた。

当日、会場に着くまで、今回の14歳の冒険は、身構えるばかりで、初日に9時半にパルテノンに着いた後も45分の集合までに3回もトイレに行くなど、親子ともども、場違いなご迷惑感を恐れながら会場を訪れたこと、昨日のこのようです。

初日終了後、一人で宿まで戻ってきた息子の顔を見て、なにか充実したあまり見たことのない表情をしていたのがホッとすると同時にとても嬉しく、朝5時に出発してきたことが間違いでなかったことに感謝いたしました。翌日も、普段見せないような表情で、自ら行きたいところに行く意思を感じさせるような朝の素振りも親としても発見でした。

(中略)

終了後、パルテノンの前の坂道で迎えると、人はとても高揚して、大塚先生に褒めてもらったことを、自ら話し出しました。それだけでも、本当に内心、涙が出そうに嬉しいことで、大塚先生には親としても、感謝の言葉が尽きません。こんな息子に、少しばかりの自信を持てるようなご指導をしていただいたこと、彼の一生の財産になるような経験をさせていただいたこと、親としての不足を大きく上回る言葉をかけていただいたこと、本当に大塚先生はじめ中山様やスタッフの皆様の御蔭で親子ともども貴重な経験をさせていただきました。

自信が持てない日々を送り、親の目を盗む行動を繰り返し、何度も怒られ、謹慎処分を受けて迎えた中学3年の夏、自分の枠を飛び出す体験をさせようと選び取った機会に、本人(も親も)が知らなかった自分に出会えた今回の企画に参加できたこと、本当にありがとうございました。

コロナ禍でなくても多感で難しい思春期である。声にならない悲鳴を上げているのかもしれない。

それでも、頼もしく興味深く思われたのは、上記の中3生も、不登校の中3生も、誰もが伸びやかに、参加する仲間たち、指導者、私どものスタッフに話しかけ、コミュニケーションを成立させていたことだ。誰も自分のことを知らない、内面の悩みや傷も知らない、そして、それをさらけ出す必要もない場、同時に、一つの明確な目的に向かっていき、それを達成する場の重要性を思った。

また、幅広い年齢層の参加が生み出した効果があった。中高生が小学生をサポートする姿があり、小学生が中高生を引っ張る場もしばしば見られたことである。

別紙、父兄からのアンケートをご参照下さい。

○児童・生徒への指導に関する工夫

鈴木アツト氏、大塚幸太氏によるワークショップのプログラムは、指導者自身の子どもたちを子どもたちと扱わない真摯な姿勢と、設定された適度な難度が達成感をもたらすことになった。また、この規模のワークショップでは贅沢過ぎる内容であったが、FUARIの音楽チームによる音楽面でのサポートが、参加者にとっても、保護者にとっても、劇的な構造を体感する大きな刺激となった。

○運営上の工夫

- ・少人数でも実施することを決め、きめ細かい対応に努めた。少人数の場合には、子どもの緊張をほぐすためにも、プロの俳優らの協力も得た。
- ・英国の芸術団体で徹底されているチャイルドプロテクションの考え方を講師、スタッフに徹底した。
- ・即興をも含む、生演奏を取り入れることで、活動の幅、柔軟性、深みを増やした。

○継続的な運営に関する課題・展望

・今後、文化庁ならびに自治体の支援が得られるメドがないなかで、民間財団等の支援を得ながら、細々と実践を積み、基盤整備を続けていきたいと考えています。パルテノン多摩は、民間に比して安価ではありますが、このような活動に対しての減免措置も、協力もありません。

・参加費を低く抑えるとともに、経済的困難な生徒たちのための「奨学金制度」を用意したが、校長会がオンライン化し、きちんと説明する時間が得られなかったため、該当者は得られないままとなった。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

学校部活動のあり方をそのまま地域へ移管することには疑問があります。学校そのものが、少なからぬ子どもたちにとって息苦しく、辛い場所であることも鑑み、子どもたちが自ら「場」を選択できる制度の構築を望んでいます。自尊心と独立心、そしてヒエラルキーのない協働を実現させてあげてください。

子どもたちの心のケアを担い過ぎないようにすることも、教員の働き方改革の主眼として位置づけていただければ幸いです。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	26名
	学校名	多摩市貝取小学校、諏訪小学校、第二小学校、瓜生小学校、星槎中学校、早稲田実業高校、カリタス女子中学校、日本音楽高等学校、都立国際高等学校、共立女子高等学校、南山中学校、静岡学院、府中浅間中学校、浦安入船中学校、聖園女学院、東大和第二中学校、小金井市第二中学校、専修大学付属高校、豊島岡女子中学校
	募集方法	チラシ、インターネット
指導者	人数等	メイン講師 2名、アシスタント(ドラマ) 1名、音楽家 各2名
	募集方法	実績と人柄から選定。
参加者の移動手段		父兄の送迎、電車、自転車、徒歩等。
活動費用	指導者謝金等	謝金 5,100円/時間、交通費なし。
	その他	ワークショップ講師アシスタント 1,050円/時間 運営アシスタント 1,050円/時間 制作 1,050円/時間
活動財源	会費	参加費 1,000円/2日間
	その他	教師、アーティスト、保護者対象のオンラインセミナー 1,000円
スケジュール	基本活動	夏休み期に実施。
	年間	
保険加入等		今年度は加入せず。

【活動の様子（写真添付）】

